

## 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

今年になって、これまで知られていなかった新しい感染症である重症熱性血小板減少症候群(SFTS)がわが国に存在していたことが次々と明らかにされました(図1)。今のところ中国・四国および九州地方での発生に限られています。いつ頃から発生し、どこまで分布しているのかなど詳しいことはまだよくわかっていません。この感染症は、2009年に中国で初めて患者が報告され、これまでに中国東部の7つの省(遼寧省、山東省、江蘇省、安徽省、河南省、湖北省、浙江省)で発生が確認されています。2011年には病原体がウイルス(SFTSウイルス)であることが明らかにされました。

### SFTSにかかった時の症状

SFTSにかかると、高熱(38度以上)、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状が現れ、血小板や白血球が減少します。その他にも、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節の腫れ、紫斑などの症状が報告されています。重症化すると死亡することがあり、これまでに確認された24名のうち10名の方は亡くなっています。

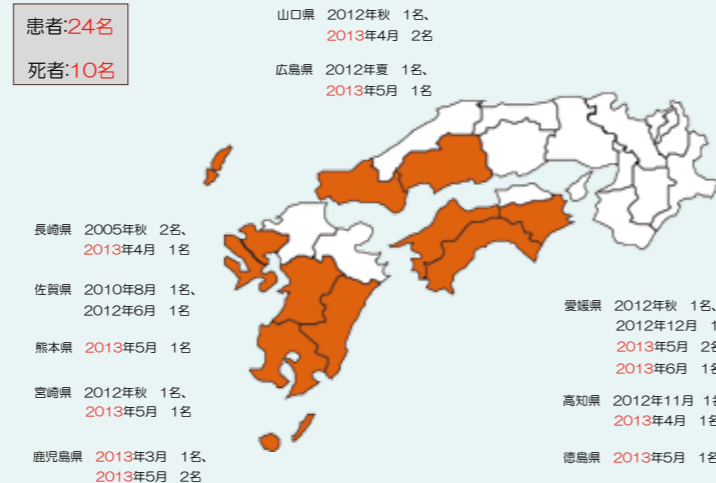


図1. これまでにSFTSの患者が報告されている地域(6月11日現在)  
(各県のWebページを元に作成)

### SFTSの媒介者

SFTSウイルスはマダニと呼ばれる比較的大型のダニ(成虫はおおよそ3mm以上あり、肉眼で見える)によって媒介されると考えられています(図2)。中国での報告では、フタトゲチマダニやオウシマダニからSFTSウイルスが分離されています。これらのマダニはわが国の野山や草地にもごく普通に分布している種類です。



図2 マダニと大きさ

わが国にはマダニが媒介する感染症として、その他に日本紅斑熱やライム病、ロシア春夏脳炎などがあり、日本紅斑熱では毎年100名を超える患者が発生しています。SFTSを含めこれらの感染症を防ぐためには、何よりもマダニに咬まれないようにすることが大切です。野山に出かけるときは「マダニ」のことを頭の片隅にとどめておき、次ページに示した注意を参考にしてください。

## 野山へ出かける時の注意

- ・農林作業、山菜とり、キノコ狩り、キャンプ、溪流釣りなど通常の道から外れて草やぶや「けもの道」に入ったりするとマダニにとりつかれる機会が多くなります。また、野山の草地に直接寝転んだりしないようにしましょう。
- ・野山へ出かけるときは、できるだけ長袖・長ズボン・スパッツ・しっかりした靴(できれば長靴)等を着用し、できるだけ肌の露出を避けましょう。服装は生地がツルツル系(レインウェアやウインドブレーカーのような)のものの方がマダニが付きにくく、白っぽい色の方がマダニを発見しやすくなります。また、虫よけスプレーを携帯し、必要に応じて使用してください。
- ・野山へ出かけた日は、帰宅後必ず入浴し、ダニのようなものがないか点検しましょう。血を十分吸って腹部が肥大したマダニは「できもの」と間違えられることがあります。もしマダニがついていたら自分で取らずに皮膚科を受診してください(無理に引っ張るとダニの口がちぎれてそのまま残り、二次感染を起こしたり結核ができたりすることがあります)。
- ・野山へ出かけてから一週間くらいたって、急に高熱がでたり、体中に発疹(赤いブツブツ)ができていたりした場合は、皮膚科や内科等を受診し、野山にでかけたことを詳しく申し出てください。

野山の道の草深いところなどでマダニは待ち構えています。  
(大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課 弓指孝博)

## シリーズ 不思議—大阪の生き物 その4

### 「パラシュートを使う毒毛虫」

公園にピクニックに出かけ木の下で休んでいると、木の上から芋虫や毛虫が糸を吐いて降りてくることがあります。幹をつたって降りているものもいるでしょう。これらは蝶や蛾の幼虫であり、葉を食べていた木を離れて別の木や土の中で蛹になるのです。

ところが、研究所で生態の研究を行なっているヒメクロイラガの幼虫は少し変わった習性をもっています。エノキやサクラの葉を食べて生長すると、葉の上にとまって、葉の基部を食べて切り離します。すると、幼虫は葉に乗ったまま、葉をパラシュートのように使って衝撃を和らげ、地面に落下することができます。また、糸を吐いたり幹の上を歩かなくて済むので、エネルギーを節約していると考えられます。しかし、いいことばかりではありません。木の下にアリの巣があると、落下した幼虫は片っ端からアリに襲われるのです。幼虫が素早く土に潜ることができればアリに食べられずに蛹になれます。なお、この毛虫には毒刺毛があり、触ると皮膚炎を起こしますので、注意して下さい。



ヒメクロイラガ幼虫の集団と葉に乗って落下したところ

(都市環境グループ 山崎一夫)